

# 新鮮凍結血漿 (FFP) とアルブミン製剤の 適正使用について

日ごろから、血液製剤の適正使用に御協力をいただき感謝申し上げます。

今般、変異型クロイツフェルト・ヤコブ病 (vCJD) 対策として、平成17年6月から英国滞在歴のある方の献血制限の強化に伴い、献血者数の減少が予想されます。

このたび、輸血療法を行う医療従事者向けに、血液製剤の適正使用に関するリーフレットを作成いたしました。日常の輸血業務にお役立てください。

## 血液製剤適正使用の必要性

- 献血者から得られる有限の治療材料・国内献血による自給自足が原則
- 感染性及び免疫性副作用が避けられない
- 患者が副作用による救済制度を受けるためには、適正使用が前提

(不適正輸血)



(輸血合併症)



医療機関の責務は  
免れない。

## 参考資料：主要国と比較し使用量の多い血漿製剤 (FFP) とアルブミン製剤

引用：血液製剤調査機構だより84号

